

令和5年3月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,698	8,930	4,530	4,400	30	32
2 千 石	4,049	6,802	3,456	3,346	30	21
3 内 山	5,620	7,863	4,189	3,674	△ 21	△ 32
4 大 和	3,525	6,666	3,292	3,374	7	9
5 上 野	7,400	15,345	7,493	7,852	△ 10	△ 32
6 高 見	7,286	13,154	6,293	6,861	△ 4	△ 21
7 春 岡	6,890	10,876	5,745	5,131	△ 11	△ 14
8 田 代	11,260	21,791	10,414	11,377	△ 20	△ 17
9 東 山	10,234	19,073	9,314	9,759	△ 15	△ 35
10 見 付	4,548	8,474	4,240	4,234	△ 30	△ 45
11 星 ケ 丘	3,553	6,852	3,049	3,803	12	14
12 自 由 ケ 丘	3,543	7,233	3,290	3,943	9	5
13 富 士 見 台	6,509	15,196	6,910	8,286	△ 3	△ 28
14 宮 根	3,842	8,127	3,776	4,351	2	△ 1
15 千 代 田 橋	3,734	8,305	3,907	4,398	△ 12	△ 14
千 種 区 計	87,691	164,687	79,898	84,789	△ 36	△ 158
R4. 3. 1	86,646	164,509	79,865	84,644		
対 前 年 比	1045	178	33	145	△ 36	△ 158
名 古 屋 市	1,143,971	2,322,598	1,139,909	1,182,689	176	△ 1,198
愛 知 県 (R5. 2. 1)	3,293,848	7,486,850	3,727,809	3,759,041	△ 548	△ 4,160

前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	78	127	△ 49	875	984	△ 109

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

名古屋市民の平均寿命

今回は、令和 5 年 2 月に公表された令和 3 年の名古屋市民の平均寿命について全国と比較しながら見ていきます。

名古屋市では、国とは別に毎年独自に平均寿命を算出しています。平均寿命とは、その年の死亡率が今後変わらないと仮定して、今後出生する人が何年生きるか推計したものです。

令和 3 年の全国の平均寿命は、男性が 81.47 年、女性が 87.57 年でした。前年と比較すると、男性は 0.09 年、女性は 0.14 年縮みました。男女の平均寿命の差は 6.10 年で、前年より 0.05 年縮んでいます。

令和 3 年の名古屋市の平均寿命は、男性が 81.36 年、女性が 87.41 年でした。前年と比較すると、男性は 0.37 年、女性は 0.28 年延び、ともに過去最高を更新しました。男女の平均寿命の差は 6.05 年で、前年より 0.09 年縮まっています。令和 3 年の名古屋市と全国の平均寿命を比較すると、男性は 0.11 年、女性は 0.16 年名古屋市が全国より短いことがわかります。

名古屋市は前年よりも、男女とも悪性新生物〈腫瘍〉、心疾患（高血圧性を除く）、脳血管疾患の死亡率が低下したことが平均寿命を延ばす方向に働きました。

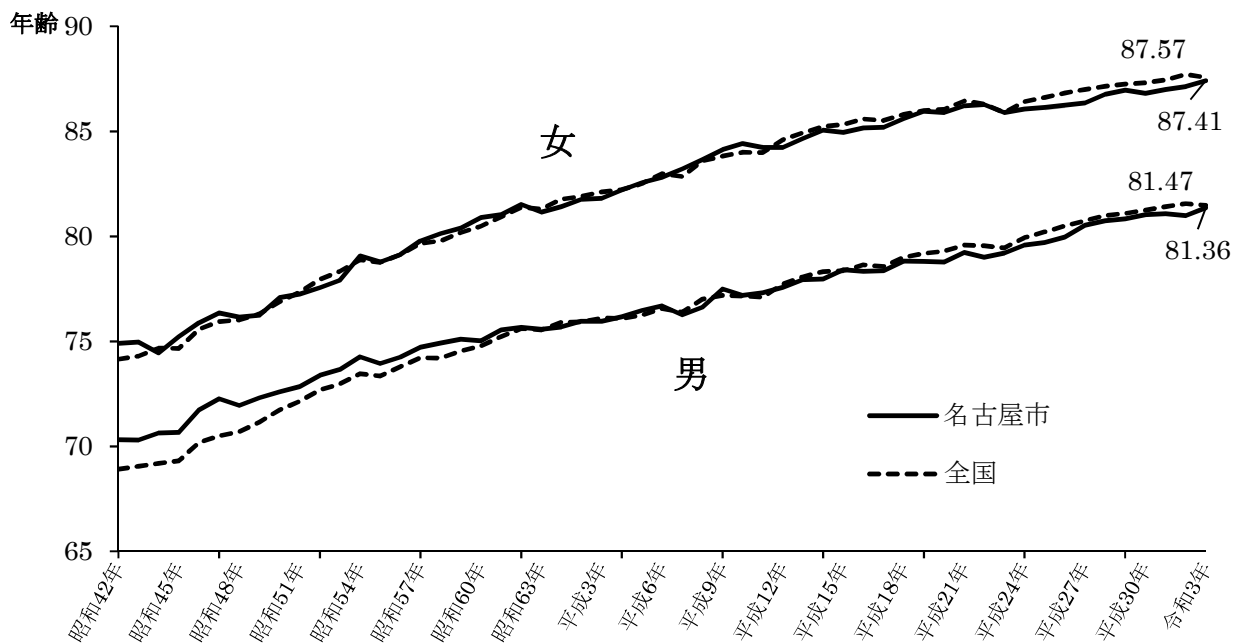


図1 平均寿命の年次推移

【補足】

平均余命と平均寿命

「平均余命」とは、その年の死亡率が今後変わらないと仮定したときに、ある年齢に達した人が平均してその後何年生きられるか表したものです。「平均寿命」とは 0 歳における平均余命のことをいいます。